

一般質問発言通告書

発言順位 9番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和5年9月5日

三島市議会議長 藤江 康儀 様

三島市議会議員 22番 弓場 重明

質問事項 1	三島駅南口東街区再開発事業の進捗状況
具体的内容	
<p>三島駅南口東街区再開発事業における総事業費が、2022年の再開発組合設立時の計画金額総額209億円から261億円、諸物価と人件費の高騰により、52億円の増額となる見込みであるとの報告があった。国、県、市の再開発補助金等の各種支援金も併せて増額となる見込みであるとの報告も併せてあった。</p> <p>2018年7月23日に、豊岡市長とある団体の懇談の席上、ここで市長は再開発事業に対し『中止する考えはない。中止させるのなら、私を殺してからにしてください。』と、床に座り壁に向かって威圧、センセーショナルな発言として全国的に知れ渡ったのは記憶に新しい。</p> <p>まさにこれが、何がなんでも完成させねばならぬという、市長自身の強迫観念として、またそれが多くの関係者に、『足元を見られているのでは』と推測される結果となっているとの心配が尽きない。そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 総事業費増額52億円(約20%)の詳細。各種支援制度も含め確実に対応出来るのか伺います。2 世界経済、特にサプライチェーンとしての中国経済の失速が今ニュースになっており、総事業費増加の歯止めは掛からない。どこまでを許容範囲としているのか伺います。3 「ゆでガエル症候群」にならぬ様に、これ以上の事業費の増額は無いとの根拠を伺います。4 民間では、52億円(約20%)もの予算額がオーバーすれば、事業規模の縮小や、中止を考える場合が多いと言われている。当局としては、これらの選択肢は有るのか伺います。	
質問事項 2	新庁舎整備について
具体的内容	
<p>今回新庁舎整備予定地として、現在地の北田町と南二日町の事業概要が当局により提示されました。当局の資料は、選定するに足る資料としては十分ではなく、この時点での選定はかなり無理があると思われます。</p> <p>例えば、不確定なデータに基づいて、北田町の場合372億円、南二日町の場合320億円との事業費が議会報告会で示されましたが、この数字は市民の選択の幅を狭め、ミスリードの可能性があるといっても過言ではありません。</p> <p>まさにこの数字が独り歩きし、実際に、報告会の中でも、52億円の差があるのならそれで良いのではとの声も聞かれました。</p> <p>今回、新庁舎整備予定地を検討する場合、システムパフォーマンス・借地代・駐車場・施設の規模・防災対策その他諸々の事項が大筋で確定しない限り、概算事業費であろうとも、示すべきではないかと思われます。それは、検討の結果、不可能と思われていた事項が可能になる場合もあるからです。そこで質問します。</p> <ol style="list-style-type: none">1 新庁舎(整備事業費)に必要と思われる所要室と、適正な規模について伺います。2 未確定時の新庁舎整備事業費、52億円の差はミスリードの可能性があると思うが如何か。3 議会報告会での中間報告を受け、あらためて各候補地の比較検討について伺います。	